発展プログラミング

第7回:マルチスレッドプログラミング入門

宮田章裕 < miyata.akihiro@nihon-u.ac.jp>

前回講義の復習



計算機アーキテクチャ (1/4)

Computer architecture

❖一般的な計算機を構成する主要装置

❖ 制御装置 :演算,記憶装置読み書き,入出力などを制御する

❖ 演算装置 : 論理演算,四則演算などの演算を行う

・ 主記憶装置:データを記憶する・ 入力装置 :データを入力する・ 出力装置 :データを出力する

中央処理装置
Central processing unit
制御装置
Control unit

出力装置
Output device

主記憶装置
Memory unit



計算機アーキテクチャ (4/4)

Computer architecture

❖一般的な計算機を構成する主要装置

◆ 制御装置 :演算,記憶装置読み書き,入出力などを制御する

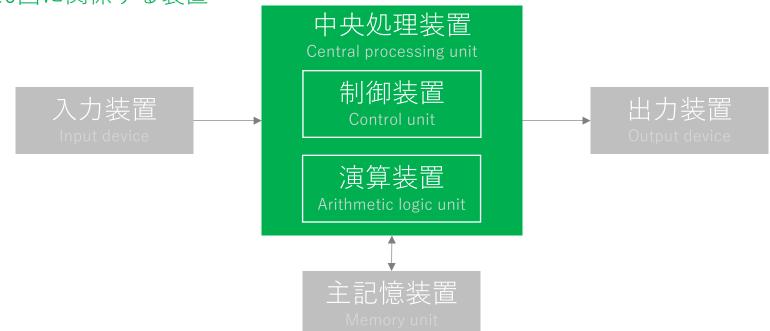
❖ 演算装置 : 論理演算,四則演算などの演算を行う

❖ 主記憶装置:データを記憶する

❖ 入力装置 : データを入力する

❖ 出力装置 : データを出力する

本講義第6~10回に関係する装置





CPU

- ❖ 制御と演算の役割を担う
- ❖ コア,レジスタ,キャッシュ等からなる

❖コア

- ❖ 制御, 演算を行うCPUの中核部分
- ❖ 1つのコアで、ある瞬間に同時に行える処理は1つ

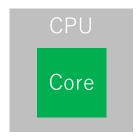
仮想的に1コアで同時に複数処理を行えるHyper-threading technologyなどの技術もあるが、本講義では扱わない。



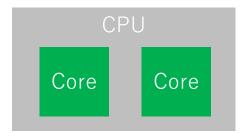


❖シングル/マルチコアCPU

シングルコアCPU 1個のコアを持つCPU



マルチコア**CPU** 複数個のコアを持つ**CPU**

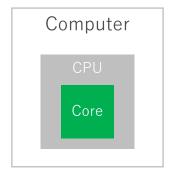


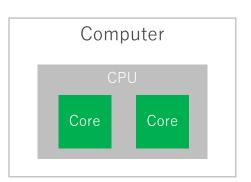


❖シングル/マルチプロセッサ

シングルプロセッサ

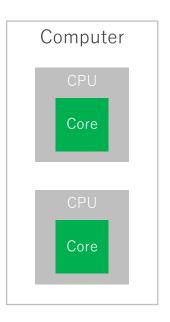
1個のCPUを搭載した計算機

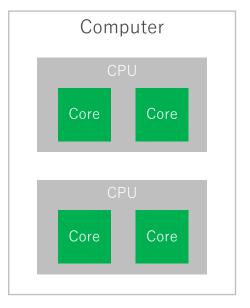


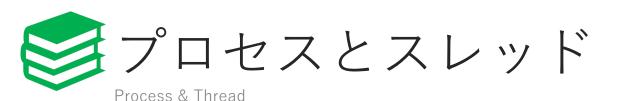


マルチプロセッサ

複数個のCPUを搭載した計算機



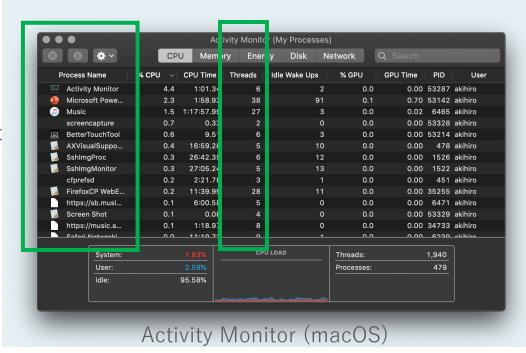




- ❖処理の単位
 - ❖ コンピュータ上の各動作はプロセスとして実行される
 - ❖ 現代的なOSは、同時に複数のプロセスを実行できる
 - ❖ 1つのプロセスは、1つ以上のスレッドから構成される

各プロセスは1つ以上のスレッドから構成される

アプリケーションや バックグラウンドサービスは プロセスとして実行される





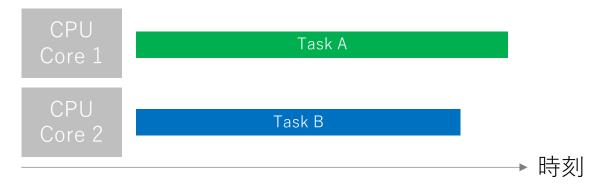
- ❖並行 Concurrency
 - ❖ 複数の処理を同時に実行状態にする
 - ❖ シングルコア/シングルプロセッサでも可能
 - ❖ たとえ:明日までに、社員1が、仕事Aと仕事Bをこなす

 CPU Core 1
 Task A (1/3)
 Task A (2/3)
 Task A (3/3)

 Task B (1/2)
 Task B (2/2)

 時刻

- ◆ 並列 Parallelism
 - ❖ 複数の処理を同時に実行する
 - ❖ マルチコア/マルチプロセッサでないと実現できない
 - ❖ たとえ:明日までに、社員1が仕事A、社員2が仕事Bをこなす





並行が有益なシーンの例

- ❖インタラクティブシステム
 - ❖ ある処理を実行中でも、ユーザからの入力を受け付ける必要がある
 - ❖ 例:動画エンコード中でも、ユーザが中止ボタンを押せる



- ❖待ち状態がある処理を含むシステム
 - ❖ ある処理が待ち状態になった場合,他の処理を実行する
 - ❖ 例:外部サーバから返答を待っている間に、過去の返答内容を分析する





マルチスレッドと並行・並列

- ❖マルチスレッド
 - ❖ 複数のスレッドが同時に実行状態にあること
 - * 並行や並列を実現する手段
- ◆各スレッドが1つのCPUで動作している場合 → 並行



◆各スレッドが別のCPUで動作している場合 → 並列



各スレッドを明示的に別のCPUコアで動かす(=並列)プログラミングは 実行可能環境が限られる上に難易度が高いため、以降、本講義では扱わない。

マルチスレッドプログラミング

マルチスレッドプログラミング

❖方法1:Threadクラスを継承する

❖方法2:Runnableインタフェースを実装する

作業準備

- ◆本日の作業ディレクトリの作成・移動
 - mkdir -p SOMEWHERE/2021_ap/07
 - ❖ 以降, SOMEWHERE/2021_ap/07をWORK_DIRとする
- ❖作業ディレクトリの作成・移動
 - cd WORK_DIR
 - ❖ Bb > 07: Multithreading 1 > Code > thread_test_1.zip をWORK_DIRにダウンロード
 - unzip thread_test_1.zip
 - cd thread_test_1



手順

- [1] Threadクラスを継承したクラスを作成する
- [2] そのクラス内でrun()をオーバーライドする
- [3] そのクラスのインスタンス経由でstart()を呼び出す

MyThread1.java のアウトライン

```
public class MyThread1 extends Thread {
    [2]
    public void run() {
        // Do something.
    }
}
```

Main.java のアウトライン

これらの処理が 並行して行われる

MyThread1.java

```
public class MyThread1 extends Thread {
   private final static long SLEEP_LEN_MSEC = 1000;

public void run() {
   for(int i = 0; i < 10; i++) {
        System.out.println("MyThread1: " + i);
        try {
            Thread.sleep(SLEEP_LEN_MSEC);
        } catch (InterruptedException e) {
            e.printStackTrace();
        }
    }
}</pre>
```

Main.java

```
public class Main {
    private final static long SLEEP_LEN_MSEC = 1000;

public static void main(String[] args) throws InterruptedException {
        MyThread1 thread = new MyThread1();
        thread.start();

        for(int i = 0; i < 10; i++) {
              System.out.println("Main: " + i);
              Thread.sleep(SLEEP_LEN_MSEC);
        }
    }
}</pre>
```

- ❖ run() Threadクラスで定義されているメソッド。 サブクラスでオーバーライドして利用する。
- ❖ Thread.sleep() 当該スレッドの処理を指定時間止めるメソッド。 本質的には不要であるが,実行結果の視認性を高めるために便宜上利用している。
- ❖ InterruptedException 一定時間スリープするThread.sleep()を実行する際に生じうる例外。 MyThread1のrun()はThreadクラスからオーバーライドしたものであり、 サブクラスで定義を変更してthrowsを付けることができないため、 try・catchで例外処理を実装している。

```
% javac Main.java
% java Main
Main: 0
MyThread1: 0
Main: 1
MyThread1: 1
MyThread1: 2
Main: 2
. . .
```

実行するたびに表示順が異なる

Threadクラスの継承によるマルチスレッドプログラミング(3/4)

MyThread1.java Main.java public class MyThread1 extends Thread { public class Main { private final static long SLEEP_LEN_MSEC = 1000; private final static long SLEEP_LEN_MSEC = 1000; public void run() { public static void main(String[] args) throws InterruptedException { for(int i = 0; i < 10; i++) { System.out.println("MyThread1: " + i);</pre> MyThread1 thread = new MyThread1(); Thread.sleep(SLEEP_LEN_MSEC); thread.start(); } catch (InterruptedException e) { for(int i = 0; i < 10; i++) { System.out.println("Main1: " + i); Thread.sleep(SLEEP_LEN_MSEC);</pre> e.printStackTrace(); 各スレッドが交互に 実行されるとは限らない Thread 1 Thread 2 時刻 シングルスレッド マルチスレッド

IR07-1

❖10本のスレッドが、それぞれ0~9までの数字を1秒おきにコンソール上に出力する プログラムを作成せよ。

目標の出力

```
MvThread #0: 0
MyThread #1: 0
MyThread #3: 0
MyThread #2: 0
MvThread #6: 0
M∨Thread #5: 0
MyThread #4: 0
MyThread #7: 0
MyThread #8: 0
MyThread #9: 0
MvThread #0: 1
MyThread #5: 1
MyThread #2: 1
MyThread #5: 8
MyThread #3: 8
MyThread #0: 8
MvThread #2: 9
MvThread #9: 9
MyThread #4: 9
MyThread #8: 9
MyThread #6: 9
MvThread #1: 9
MvThread #7: 9
MyThread #3: 9
MyThread #5: 9
MvThread #0: 9
```

ヒント

- ❖Threadクラスを継承するクラスのインスタンスを10個作る (当然だが10回同じコードを書いてはいけない)
- ❖上記インスタンス作成時に、スレッドのIDを与える
- ❖各インスタンス経由でstart()を呼び出す

Threadクラスの継承によるマルチスレッドプログラミング (4/4)

- ❖Threadクラスを継承する方法の問題点
 - ❖ Javaでは多重継承が許されていない(1つのクラスしか継承できない)ため Threadクラスを継承してしまうと他のクラスを継承できない
 - ❖ 公式ドキュメントにおいてもこの方法は相対的に一般的ではなく,制約があるので、もう一方の方法(後述の方法2)の利用を推奨しているhttps://docs.oracle.com/javase/tutorial/essential/concurrency/runthread.html

MyThread1.java

```
public class MyThread1 extends Thread {
   private final static long SLEEP_LEN_MSEC = 1000;

public void run() {
   for(int i = 0; i < 10; i++) {
      System.out.println("MyThread1: " + i);
      try {
        Thread.sleep(SLEEP_LEN_MSEC);
      } catch (InterruptedException e) {
        e.printStackTrace();
      }
   }
  }
}</pre>
```

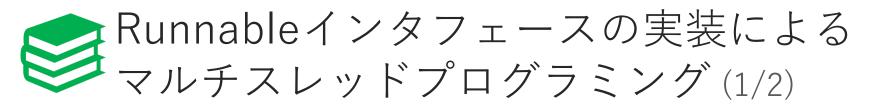
マルチスレッドプログラミング

❖方法1:Threadクラスを継承する

❖方法2:Runnableインタフェースを実装する

作業準備

- ❖作業ディレクトリの作成・移動
 - cd WORK_DIR
 - ❖ Bb > 07: Multithreading 1 > Code > thread_test_3.zip をWORK_DIRにダウンロード
 - unzip thread_test_3.zip
 - cd thread_test_3



手順

- [1] Runnableインタフェースを実装したクラスを作成する
- [2] そのクラス内でrun()を実装する
- [3] そのクラスのインスタンスを引数にしてThreadクラスのインスタンスを作成する
- [4] Threadクラスのインスタンス経由でstart()を呼び出す

MyThread3.java

```
public class MyThread3 implements Runnable {
    private final static long SLEEP_LEN_MSEC = 1000;

    public void run() {
        for(int i = 0; i < 10; i++) {
            System.out.println("MyThread3: " + i);
            try {
                 Thread.sleep(SLEEP_LEN_MSEC);
            } catch (InterruptedException e) {
                  e.printStackTrace();
            }
        }
    }
}</pre>
```

Main.java

```
public class Main {
    private final static long SLEEP_LEN_MSEC = 1000;

public static void main(String[] args) throws InterruptedException {
        MyThread3 mt = new MyThread3();
        Thread thread = new Thread(mt);
        thread.start();

        for(int i = 0; i < 10; i++) {
              System.out.println("Main: " + i);
              Thread.sleep(SLEEP_LEN_MSEC);
        }
    }
}</pre>
```

```
% javac Main.java
% java Main
Main: 0
MyThread3: 0
Main: 1
MyThread3: 1
MyThread3: 2
Main: 2
. . .
```

実行するたびに表示順が異なる

IR07-2

❖Threadクラスの継承を行わずに、10本のスレッドが、それぞれ0~9までの数字を1 秒おきにコンソール上に出力するプログラムを作成せよ。

目標の出力

```
MyThread #0: 0
MyThread #1: 0
MyThread #3: 0
MyThread #2: 0
MyThread #6: 0
MvThread #5: 0
MyThread #4: 0
MyThread #7: 0
MyThread #8: 0
MyThread #9: 0
MyThread #0: 1
MyThread #5: 1
MyThread #2: 1
MyThread #5: 8
MyThread #3: 8
MyThread #0: 8
MyThread #2: 9
MyThread #9: 9
MyThread #4: 9
MyThread #8: 9
MyThread #6: 9
MyThread #1: 9
MyThread #7: 9
MyThread #3: 9
MyThread #5: 9
MvThread #0: 9
```

作業準備

- ◆作業ディレクトリの作成・移動
 - cd WORK_DIR
 - ❖ Bb > 07: Multithreading 1 > Code > echo.zip をWORK_DIRにダウンロード
 - unzip echo.zip
 - cd echo

IR07-3

- ❖Threadクラスの継承を行わずに、次の挙動を実現するプログラムを作成せよ。
 - キーボードから1~9の数字を1つ入力してEnterを押すと、 その数字がコンソール上に繰り返し表示され続ける。
 - 上記の数字が表示され続けている間に,新たに1~9の数字を1つ入力してEnterを押すと, その数字がコンソール上に繰り返し表示され続ける。0を入力してEnterを押すとプログラムが終了する。

ベースとなるコード (Echo.java)

ベースとなるコードの挙動

一度whileループに入ってしまうと 他の処理は一切できないので 題意が満たせない。

- ❖ キーボードから数字を読み込む方法 Scanner scanner = new Scanner(System.in); int i = scanner.nextInt():
- ❖ InterruptedException 一定時間スリープするThread.sleep()を実行する際に生じうる例外。

IR07-4

- * 自身のIDと指定文字列をコンソール上に出力するprint()を持つPrinterクラスがある。このクラスを 継承して、(1)の機能を持つSimplePrinterクラスと、(2)の機能を持つDecoratePrinterクラスを実装 せよ。次に、(1)(2)の機能を並行して実行するプログラムを完成させよ。
 - (1) 0~4の数字を順番に、2秒おきに、シンプルに出力する
 - (2) 0~9の数字を順番に、1秒おきに、装飾して出力する

Printer.java

```
public class Printer {
    private int id;

public Printer(int id) {
        this.id = id;
    }

public void print(String msg) {
        System.out.println("Printer #" + id + ": " + msg);
    }
}
```

目標の出力例 (Printer #0がシンプル, Printer #1が装飾)

```
Printer #1: ====0====

Printer #0: [0]

Printer #1: ====1====

Printer #1: ====2=====

Printer #1: ====3=====

Printer #0: [2]

Printer #1: ====4====

Printer #1: ====5====

Printer #0: [3]

Printer #1: ====6====

Printer #1: ====7====

Printer #1: ====8====

Printer #1: ====8====
```



❖講義内容

- Threadクラスの継承によるマルチスレッドプログラミング
- Runnableインタフェースの実装によるマルチスレッドプログラミング

❖授業內課題提出

- 各授業内課題 (IR) の解答を記載せよ。
- 「講義内容のまとめ」の解答欄に上記「講義内容」の各項目について文章で説明を記載せよ。